



# 鯨井中学校だより

《学校教育目標》 自らを磨き 未来を拓く生徒

川越市立鯨井中学校

【第11号】

令和8年1月8日発行

文責 校長 加藤早苗

## 新たな目標を持ち、充実した2026年にしよう！

新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

今回の冬休みは14日間でしたが、大きな病気や怪我等の報告もなく、本日第3学期を迎えることができました。これも日頃より保護者や地域の皆様方が、子どもたちを温かく見守ってくださっているおかげと感謝しております。

令和8年（2026年）は「午年」。60年に一度巡ってくる「丙午」という特別な年です。非常にエネルギーで情熱的、そして前向きな行動力が高まる年とされています。馬が力強く駆けるように、躍動感ある一年になるよう願っております。



さて、日本には古くから「一年の計は元旦にあり」ということわざがあります。これには「物事は初め肝心」「一年の計画や目標は年の初めの元旦に立てることが、その年一年の成功や成長の鍵」という意味があります。鯨井中生にとって学校生活の目標を立てるには、第3学期を迎えた今日がふさわしい日になります。ぜひ、自分自身の一年の具体的な計画や目標をしっかりとと考え、少しずつ実行に移せるようにしてほしいです。

本年も未来を担う鯨井中学校の生徒たちのために学校教育目標である「自らを磨き、未来を拓く生徒」を目指して、学校と保護者、地域の皆様とが連携、協力し合い教育活動を進めていきたいと考えております。昨年に引き続き、本年も本校の教育活動へのご理解・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

## 《12月 書きぞめに取り組みました》

昨年12月に全学年の国語の授業で「書きぞめ」に取り組みました。3~4時間の取り組みでしたが、生徒たちは教室に書きぞめ道具を広げ、課題（手本）を見ながら真剣な表情で練習に取り組んでいました。今年は1年生が「心の成長」、2年生が「強い信念」、3年生が「多様な思考」という課題（手本）でした。今後、1月13日（火）に川越地区書きぞめ審査会（非公開）、1月24日（土）と25日（日）に第78回埼玉県書きぞめ中央展覧会（県展）が行われます。



【練習の様子(3年)↑】

【練習の様子(1年)↑】